

## コンテンツ

はじめに・・・志望理由書を書くにあたって／基本編で学ぶこと

### ◇第一章・・・基本編

#### 【1】自己PR・・・自分を知る

志望理由を書く際の最初のステップとして、自分がどういう人間であるのかを様々な角度から考察していくことから始めていきます。このような自分のこれまでの実績や活動などを振り返る作業によって、自分の適性を知るようになり、結果として将来、どういうことをしたいのかも分かってくるでしょう。

##### 【A】自己分析

ポイント1：自分をアピールするためには自分を知らなければなりません。まずは自分の長所と短所を箇条書きにしてみましょう。

##### 【B】部活動や留学経験

ポイント1：中学・高校時代の部活動や留学経験をアピールします。

ポイント2：そうした活動や経験を通して、なにを学んだのかを具体的に書いていきます。

##### 【C】社会活動・ボランティア活動

ポイント1：自分の志望学部、志望学科、将来就きたい職業(進みたい道)に関連した活動であること。

ポイント2：ボランティアをおこなう動機やきっかけが明確であること。

ポイント3：ボランティアから学んだことやボランティアで得た経験を、自分の将来にどう活かせるかを説明すること。

ポイント4：自分の志望学部、志望学科、将来就きたい職業(進みたい道)に関連した活動であること。

##### 【D】活動報告書

ポイント1：これまでずっと続けてきた習い事や、なにか賞をとったことがあるのであれば、そうした特技や能力について書いてください。

ポイント2：そうした活動を通して、なにを学んだのかを具体的に書いていきます。

ポイント3：【B】と【C】で書いたことをまとめていきます。

## 【E】志望学部を決める前に

ポイント1：過去・現在・未来を考えて学部を選びます

## 【2】志望大学・学部の情報収集・・・相手を知る

志望理由書を書くにあたって、自分のことを相手に伝えるのと同様に重要なのが、相手のこと（この場合志望大学・志望学部）を知ることです。こういった理念に基づいて創立された大学で、どういう先生がいて、どういうカリキュラムがあるのかなど、大学・学部のことをできる限り調べていきましょう。

## 【F】志望大学を調査する

ポイント1：志望理由書を書く前に志望する大学がどういう基準を設けているのかを調査します。

## 【G】志望理由書とは？

ポイント1：志望理由書には「学部学科の志望理由」と「大学そのものの志望理由」の双方が詳細に含まれていなければならない。

ポイント2：志望大学・志望学部を挙げていく。

ポイント3：志望大学のHPやパンフレットを見て、印象に残ったことを書く。

ポイント4：オープンキャンパスに行ったときの印象や志望大学の特徴を書く。

## 【H】学部・学科の志望理由を書くポイント

ポイント1：あなたが将来つきたい仕事を明確にすること。

ポイント2：将来その仕事につきたい（その道に進みたい）と思った理由と背景、実体験を交えて書くこと。

ポイント3：将来つきたい仕事（進みたい道）やそのために大学で学ぼうと思っていることをより具体的に細かく書くこと。

ポイント4：自分が将来つきたい仕事（進みたい道）と、そのために必要な勉強についての情報を徹底的に収集すること。

## 【I】大学そのものの志望理由を書くポイント

ポイント1：志望大学の先生と著作について調べあげること。

ポイント2：志望大学の志望学部・学科についての情報を徹底的に調べ上げ、他校の  
同学部・同学科にない特色やカリキュラムに注目すること。

ポイント3：受験生に指摘されたら大学側が喜びそうなポイントを見極めること。

## 【J】基本編の最後に

応用編で学ぶこと／応用編のテーマはユニークさ

◇第二章・・・応用編

### 【1】内容充実のためのネタ発想法

- ・発想法①「逆張りでライバルたちと差別化する」
- ・発想法②「時事ネタ法で読み手の‘感心’を誘う」
- ・発想法③「トリビア法で読み手の‘関心’を誘う」
- ・発想法④「キーワード法を発想のヒントにする」
- ・発想法⑤「連想ゲーム法でアイデアを生む」
- ・発想法⑥「海外の視点を入れてみる」

### 【2】面接も同時に考える

- ・対策①「自分のことを別の角度から掘り下げる」
- ・対策②「志望学部と社会の接点を考える」
- ・対策③「自分の書いた文章に‘ツッコミを入れてより具体的にする」

### 【3】ライバルに差をつけるための工夫

◇千人に一人の存在になるために

- ・手順①「ネタの箇条書き」
- ・手順②「構成は結論先行型が最適」
- ・手順③「書き出し一文目の工夫」
- ・手順④「一文を短くする」
- ・手順⑤「締め段落では論旨を一步前へ」

## 【C】社会活動・ボランティア活動

AO入試の受験者の多くはボランティア活動を経験していますが、ボランティアをしていればAO入試に合格できるのかというと決してそうではありません。ボランティア活動の経験を通じて大学側に自分をアピールしなければならないのです。

### 【重要ポイント】

- 自分の志望学部、志望学科、将来就きたい職業(進みたい道)に関連した活動であること。
  - ボランティアをおこなう動機やきっかけが明確であること。
  - ボランティアから学んだことやボランティアで得た経験を、自分の将来にどう活かせるかを説明すること。
- 
- 自分の志望学部、志望学科、将来就きたい職業(進みたい道)に関連した活動であること。

自分の進路に関連した活動であれば、活動から得たことを志望理由書や活動報告書に結び付けやすくなります。

たとえば、

看護学部志望なら  
教育学部志望なら

病院や老人ホームでの看護ボランティア  
無料学習塾での講師ボランティア

といった具合です。ボランティアを探すのに最も便利な方法はやはりインターネットです。「病院 学生 看護 ボランティア」「貧困 教育 学生 ボランティア」といったように、キーワードを入力して検索をかけてみます。

そして、そこから自分の住居地や活動可能な時間帯を照らし合わせて継続できそうな活動を選択します。活動を選択したら、電話をかけるなどして直接問い合わせ、再度安全性や詳細を検討しましょう。

また、将来の進路が具体的に決まっていない人は、自分の学校内にあるボランティア団

体や、住んでいる地域でおこなわれているボランティア活動に着目してみてください。長期休み前は、学校の掲示板などにボランティアの募集のチラシが貼ってあることも多いです。

ボランティア活動をおこなうと、日常生活では出会うことのできない多くの人と出会うことができ、自分の視野が広がります。新たな進路の道が開けるかもしれません。進路に迷っている人は、身近なところからボランティアを始めてみましょう。

問1：これまでに活動してきたボランティアがあれば、箇条書きでまとめなさい。もしなければ、これから活動できそうなボランティアを探し、箇条書きでまとめなさい。

## ・ボランティアをおこなう動機やきっかけが明確であること。

ボランティアをおこなった動機は面接等でよく問われます。

「AO入試に合格するためにやってみた」「先生に勧められて始めてみた」という解答は、もちろん好ましくありません。たとえ、上記のような理由であったとしても、始める前に自分で理由を考えておきましょう。

ボランティアが必要な現場には、必ず解決が必要な何らかの問題点が存在しています。したがって、現状を把握し、自分が活動する現場での問題点を見極めることが重要になってくるのです。

たとえば、

日本では子供の貧困が深刻な問題点であり、相対的貧困率は先進国の中でもトップクラスだ。



高学歴化が進む日本で、塾や予備校に通う余裕のない子供たちは、貧困の連鎖から脱却することが困難である。



無料学習塾といったボランティアを通して、子どもたちに質の高い教育を提供することが貧困問題の一つの解決策になり得る。

といった具合です。明確な理由付けは、大学側に好印象を与えられるので、必ずおこなうようにしましょう。

問2：ボランティア活動をおこなった（おこなう）動機を、字数を気にせず説明しなさい。

**・ボランティアから学んだことやボランティアで得た経験を、自分の将来にどう活かせるのかを説明すること。**

これがAO入試を受験する皆さんにとって、最も重要なポイントです。たとえ同じ活動をしたとしても、感じること、印象に残ることは十人十色のはずです。活動をおこなう際には必ず小さなメモ帳を持参して、感想や気付いたこと等を簡単にメモしておきましょう。

そして帰宅してから再度まとめなおすと、自分の頭がしっかり整理されます。ボランティア活動から得たことを自分の将来に結び付けると、志望理由書や活動報告書にネタとして直接活用できる場合が多いので、活動後の振り返りは手元に残る形で必ずまとめておきましょう。

また、近年は海外でボランティア活動をしている高校生も少なくありません。身近な活動も非常に意義のあるものですが、特に将来国際的な舞台で活躍したい人、発展途上国に興味のある人にとって海外でのボランティアは貴重な体験になります。海外でのボランティア活動を検討する場合には上記の三点に加え、特に安全面を考慮しましょう。海外ボランティア経験者からすると、

- ・現地ガイドに加えて日本人添乗員が付いてくれる
- ・食事やホテルのセキュリティーに心配がない
- ・同世代の参加者がいる

とより安心です。

【例③ 慶応大学看護医療学部】

ベトナム 「ツーズー病院」訪問と「子ども孤児院」交流  
地球の歩き方 (ホワイト・ベアーファミリー)

カンボジア 国際医療の現場で職業体験  
JAPAN HEART(HIS)

問3：活動してきた（活動する）ボランティアが、自分の将来就きたい職業とどのように関連しているのかを字数を気にせずまとめなさい。